令和８年度第１回自立支援協議会テーマ別部会
高次脳機能障がいのある方への社会参加支援について　議事要旨

１．開催日時　　令和８年 10 月６日（火）　11 時 30 分～12 時 00 分

２．開催場所　　まちづくり活動プラザ　１階会議室

３．出 席 者　　（委員）＊団体名のみ記載
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団、特定非営利活動法人いちされん、医療法人社団城東桐和会、障がい事業課
（事務局）浦安市基幹相談支援センター

４．議事次第
　１．開会
　２．議題
　（１）リーフレットに関する意見
　■部会運営委員会での意見
　脳の病気や怪我を治療するような、大きな病院に置いてもらうのはどうか。医療に罹った時点で、今後利用する可能性のある機関を知ることが出来ると、それをきっかけにつながる方もいるかもしれない。
　■令和７年３月 28 日開催の令和７年度第２回自立支援協議会本会での意見
　・おそらく、高次脳の方は最初に急性期の病院に入られることが多いかと思う。そこからすべての方がタムス浦安病院にリハビリ病院として通うわけではないとしても、リーフレットが罹患したときの、ご本人やご家族の安心感というのに繋がるのではないかと思うので、市内の病院等と連携をして、お配りするのも１つかなと思ったので、ご検討いただければと思う。
　・聴覚障がいのある方は、声が聞こえないので電話をすることができない。できれば、FAX の番号も載せていただきたい。
　・様々な障がいのある方の特性に配慮した情報保障という点では、視覚障がいの方に向けた、音声コード Uni-Voice（ユニボイス）も、可能であれば、載せていただけるといいのではないか。
　（２）リーフレット改訂についての検討
　■改訂内容　■役割分担

　（３）閉会

５．配布資料
・次第

６．議事要旨
　冒頭、事務局（基幹相談支援センター）より、本テーマ別部会の趣旨を次第に沿って説明。

以下、委員から出た主なリーフレット改訂にむけての意見：

・配布先の拡大を合わせて検討するのはどうか。タムス浦安病院には置いてあるが、市内の他の病院にも置けるのではないか。できれば市内の他の病院にもリーフレットを置いてもらいたい。福祉施設でいえば、東野パティオや障がい福祉サービス事業所には置いてある。計画相談支援事業所、障がい領域の相談窓口、介護保険窓口にも置いておくのが良いのではないか。
・作成当時、部数をあまり多く印刷していない。今年度リーフレットを改定し、来年度に印刷して増刷することができるか（※具体的にどれだけの部数を刷ることが可能か確認する必要がある）。
・千葉県の高次脳機能障がいの相談窓口も追記したほうが良いのではないか。
・Uni-Voice は 800 字しか読み込めないため、文章の検討が必要。また、音声コードが入った印刷物には切り欠きを入れる必要がある。切り欠きが出来る事業者が限られているので、以前発注した印刷業者で対応が可能かどうかを確認する必要がある。
・聴覚障がいの方、視覚障がいの方が相談できるようにすることが必要。FAX やメールアドレスを追加するでもよいが、事業所によってはホームページの予約フォームにリンクさせるのはどうか。
・QR コードを記載し、リンクに飛べるようにするのはどうか。
・基幹相談支援センターは FAX とメールアドレス、タムス浦安病院の FAX 番号を追記。
・障害の「害」の字について、「がい」のほうが良いのでは、と思っている。表記の統一について検討する。
・高次脳機能障がいについて診療報酬が手厚くなった。リーフレットを用いて、丁寧な説明を行うことで報酬をつけることができるようになった。

以上